

ユグランド チーズを 創るとき

Yuri on ICE unofficial fanbook
Victor Nikiforov × Yuri Katsuki
BAROQUELINE / KIKUYATOSHO

R18 : for adult only



人間は
身体のどの部分で
命を認識しているのだろうか











こんな
ひどい状況でも
彼は勝るなあ

ふふ





先に
お願ひする

それから
何か作って
食べませんか

ユグランズが
チーズを
創るとき

えん









最近コウリ
このパン
ばかり
買ってきてるわ

はまっているや

クルミが
好き

デトロイトに
来た時に
はまっていた

ダイエット中
とよく言べて
たんだよ

骨の
代用と
心臓と

血管にいいからって
チエレスティーンが
助めてくれた

あとね
寝に
良いんだって

認知機能

俺のチビッぽさも
クルミで
改善できるかな

ヴィクトルは
興味あることしか
言える気が
ないんですけど...

人の脳に
似てるからかな

……
ワイクトル

口開けて

はんぶんこ



おれがらでござい





ニヤんか
俺たちの
DNAみたい

D

確実に
世の中で死んでゆく細胞があった



……
ヴィクトル

ソリス
乗ってる



それを慰め 埋めて また身映く

おねえ
ツイクトル

……



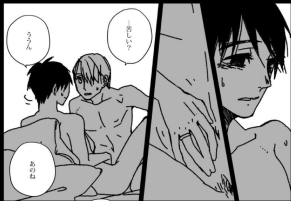




あのひとくちは 骨に 肉に 血液に







いま言べたものの
全部ヴィクトルとの
セックスで
使われてますって

ヴィクトルも

半分に分られて俺にあたえられたあのクルミは 身体の内です

……
ヴィクトル

死んでゆく細胞の声をつないで
いつまでも覚えていられますようにと



……
真つ二つなって
離れ離れになって

さみしくなるから
くつつまたがるんだ



同じものを食べた 恋しがって泣いた





俺は
身体のどの部分で恋を認識しているだろうか

“忘れないでいてよ”
ぼくのことを





カリスのパン

明日また
買ってこないぞ

最後の日まで ふたり
この世界で生きてゆけますように

ユゲランスがチーズを創るとま



BAROQUELINE
菊屋図書

[web] <http://baroqueline.com>

[mail] kikuyatosho@gmail.com

[twitter] @baroqueline_k

[pixivID] 3641398

2018年8月11日発行

この本の無断転載・複製・盗用
インターネット上への掲載
ネットオークション・フリマアプリでの出品
ならびに転売を禁止します





「オーズの匂い
してきた」

うん

おなか
すいたね

……昨日
ユリオに
言われたんだけど

ん？



「おまえらだんだん
慣れてきたあつて」

……
ヴィクトルが
慣れるのは
かたなあ

「ユウリが
俺に回るんじや
なくて？」

それは
ないんじや
ないかな

同じようなメンツで
同じものを
食べてるものが
多いからかなあ

10年

じゃあ
今日のランチニマで
また俺たち2人に
回してくるわ

1ねえ
ユウリ

10年
20年

50年経ったかの
俺たちが
食べてるもので
思えば

は は は は

……
寂しい？

まあ
出来たよ

……

end.